

がん登録 2017年症例報告

1. はじめに

がん登録とは、国のがん対策の基礎となる、がん患者数、罹患率、生存率、治療効果などを把握することを目的に、がん治療のために病院を受診した患者さんの治療内容、治療効果、予後などの情報を集め、把握・分析する仕組みです。患者さんへの的確な情報提供や、次のがん対策のための基礎資料としてがん登録は必要不可欠なものです。国が指定する登録様式(がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式(2016年版修正版))に準拠して、院内がん登録を実施することが義務付けられています。

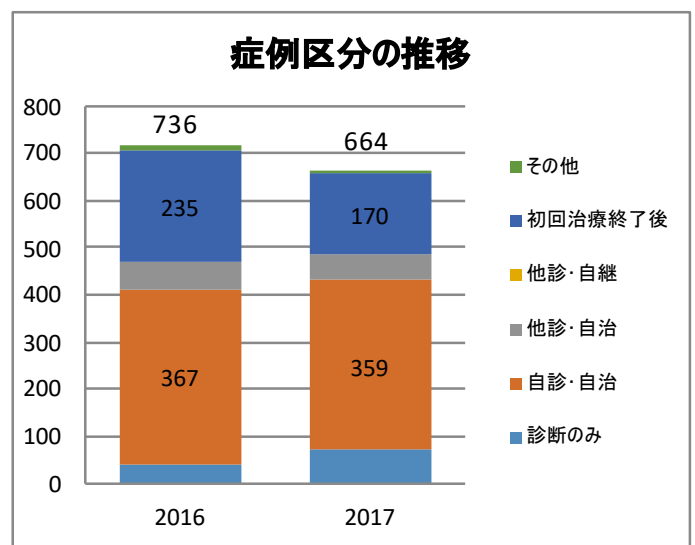
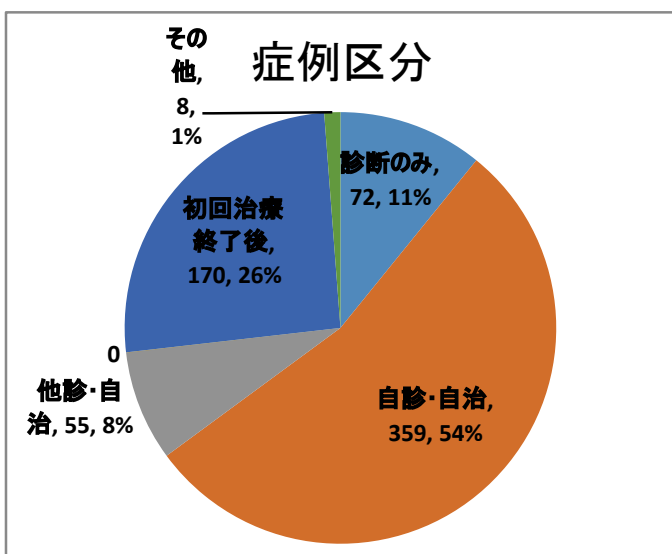
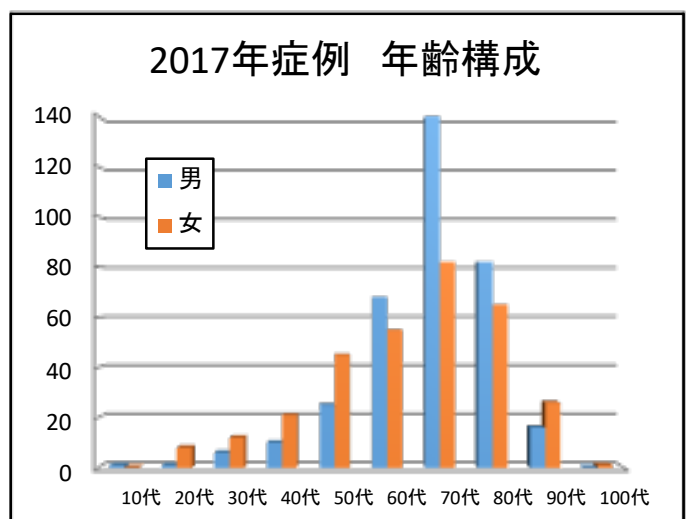
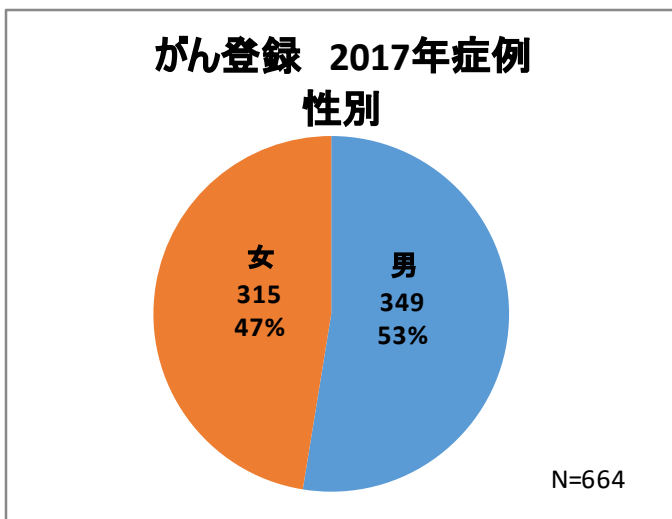
2. 集計表について

この集計表は、国が指定する登録様式に準拠して登録されたデータを使用して、JR広島病院の部位別のがんの件数や部位別のがんの拡がりごとの治療法を示しています。

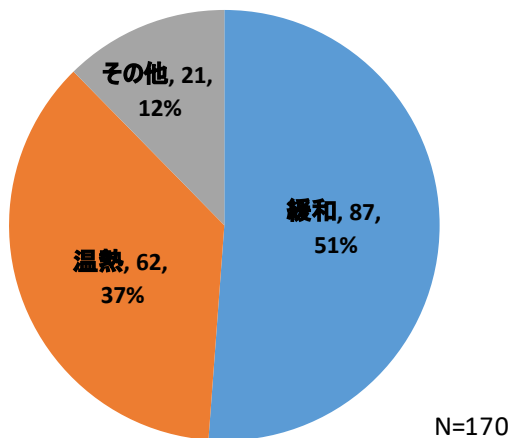
院内がん登録標準登録様式 2016年版に基づき登録を行った。(2017年11月末時点)

1腫瘍1登録

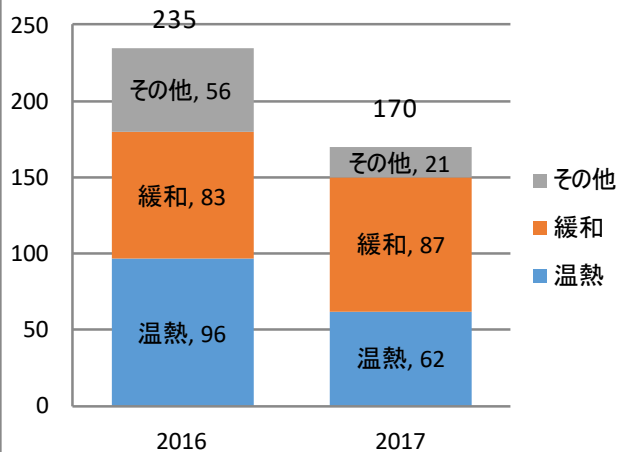
入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び又は治療等の対象となった腫瘍



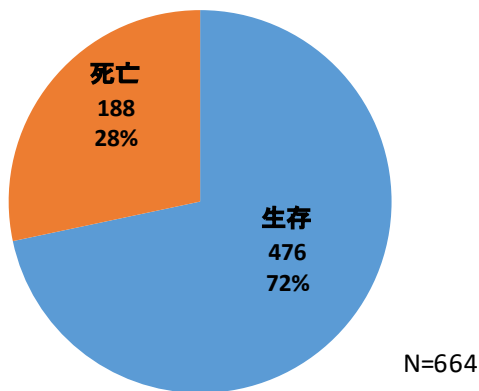
初回治療終了後 受診目的



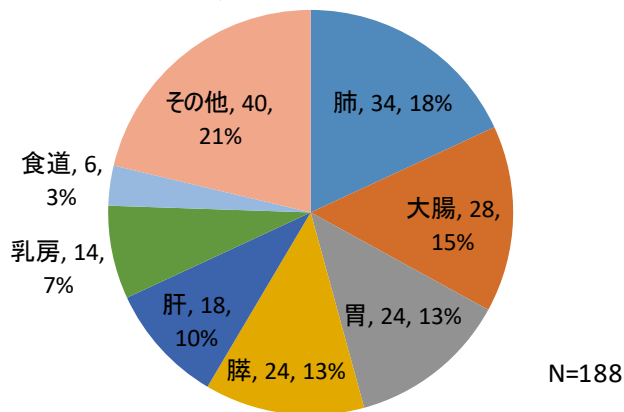
初回治療終了後受診目的の変化



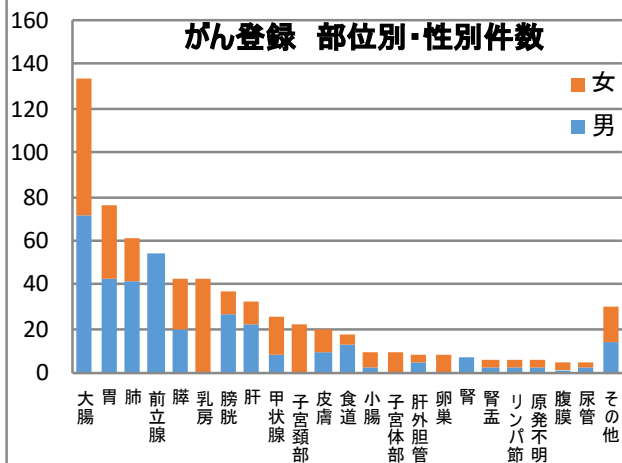
2017年症例 生存状況



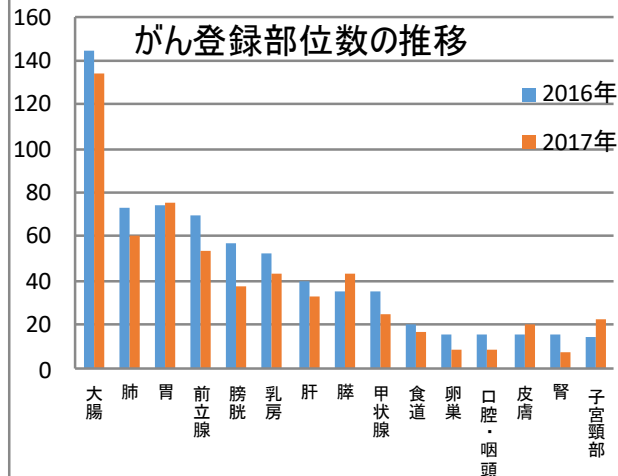
がん登録死亡患者 部位別



がん登録 部位別・性別件数

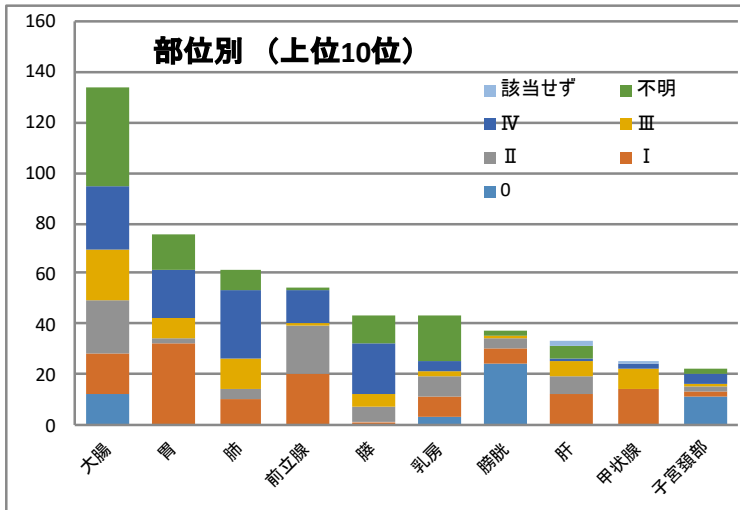


がん登録部位数の推移



部位別上位10位 病期分類

	病期							計
	0	I	II	III	IV	不明	該当せず	
大腸	12	16	21	21	25	39	0	134
胃	0	32	2	8	19	15	0	76
肺	0	10	4	12	27	8	0	61
前立腺	0	20	19	1	13	1	0	54
膵	0	1	6	5	20	11	0	43
乳房	3	8	8	2	4	18	0	43
膀胱	24	6	4	1	0	2	0	37
肝	0	12	7	6	1	5	2	33
甲状腺	0	14	0	8	2	0	1	25
子宮頸部	11	2	2	1	4	2	0	22

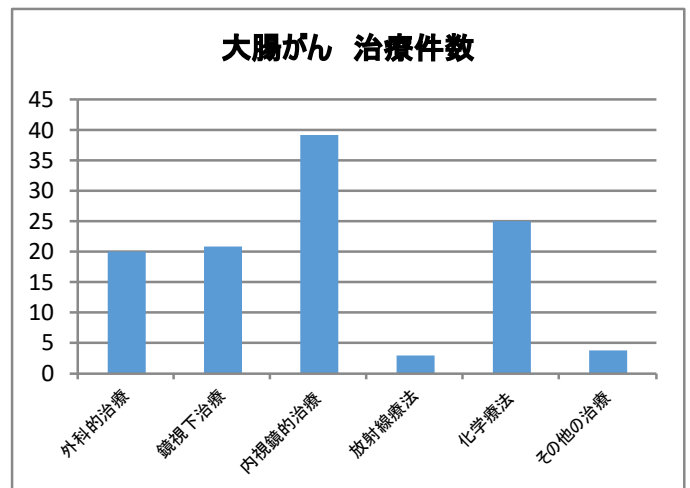
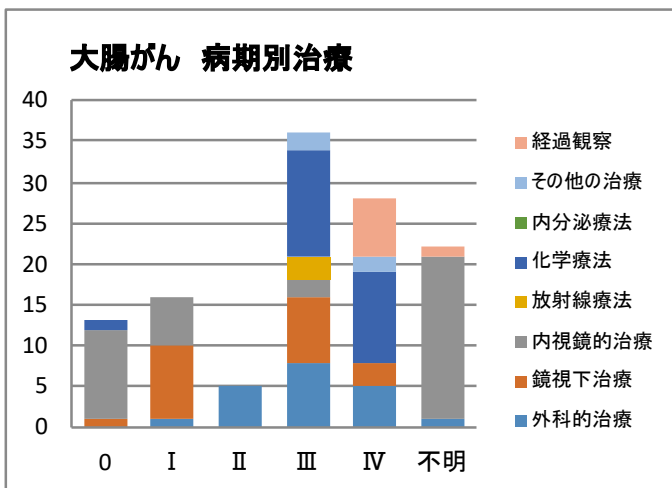


院内がん登録における治療の定義

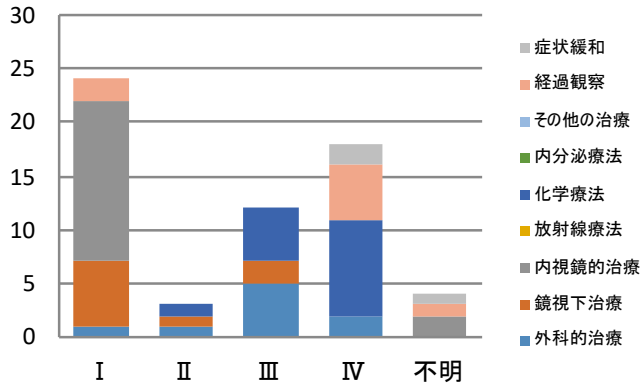
当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療のうち、当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行われた、腫瘍に対する治療とする。

- ・外科的治療とは、開腹手術によるがんを切除する治療
- ・鏡視下治療とは、胸腔鏡下・腹腔鏡下手術によりがんを切除する治療
- ・内視鏡治療とは、体表に切開を全く加えることなく内視鏡下にてがんを切除する治療

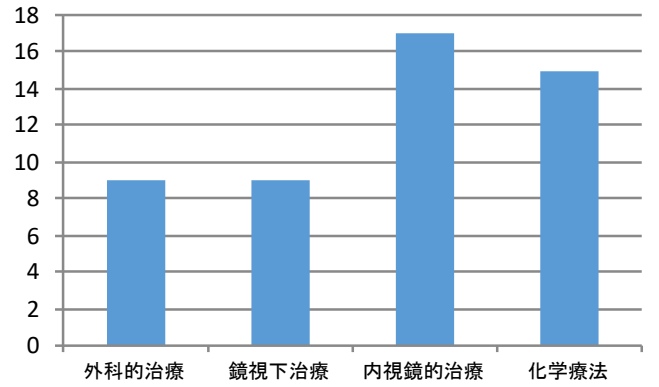
症例区分 自施設初回治療実施症例・病期別治療と治療件数



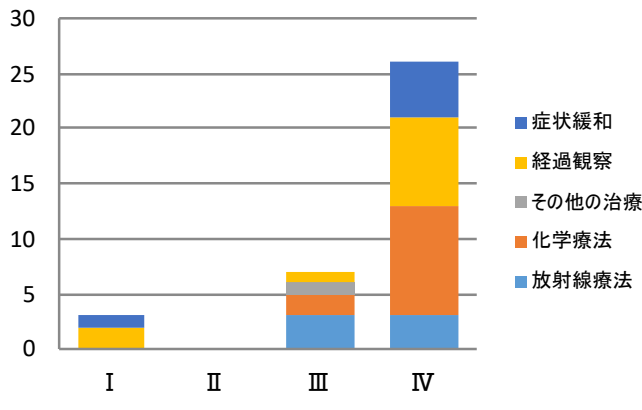
胃がん 病期別治療



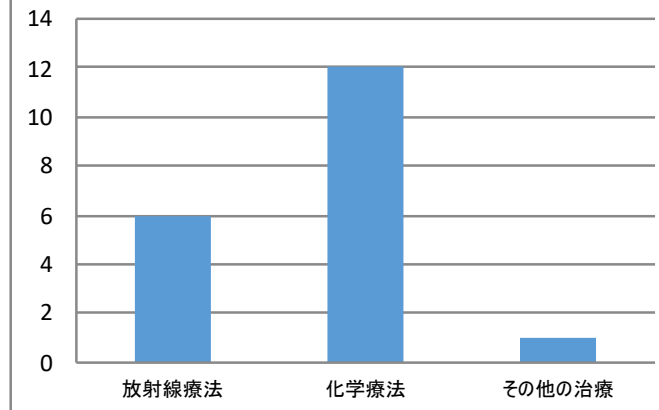
胃がん 治療件数



肺がん 病期別初回治療

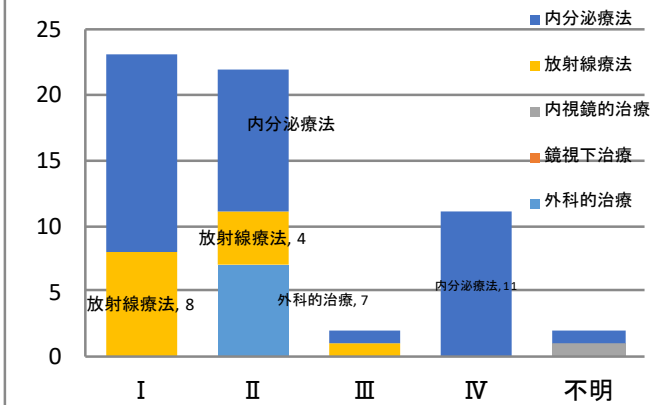


肺がん 治療件数

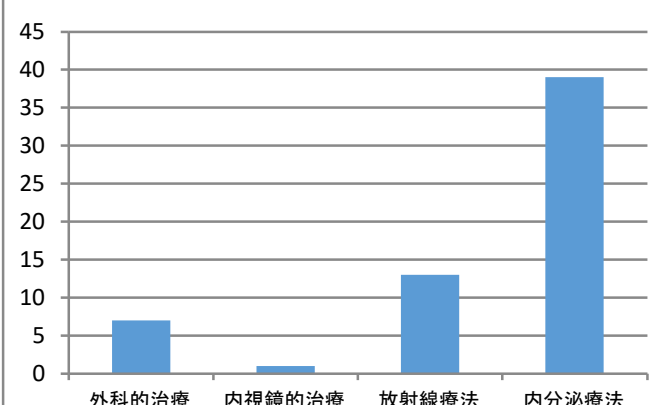


当院では呼吸器外科手術を行っていません。切除不能肺がんの化学療法・HIPRACでの放射線治療、および緩和ケアを担当しています。

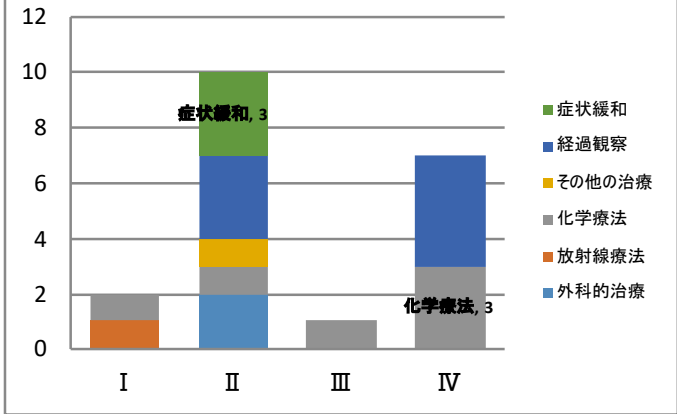
前立腺がん 病期別初回治療



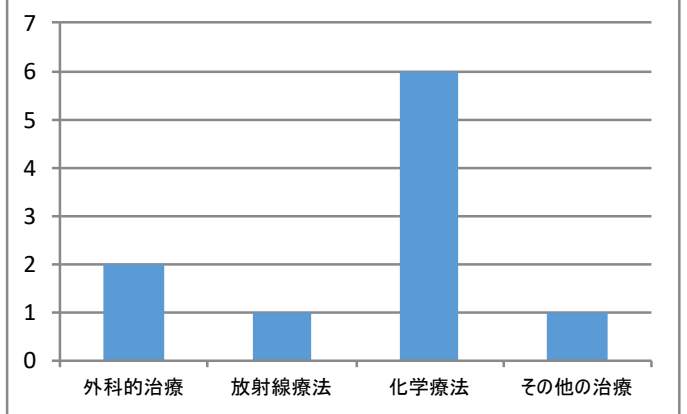
前立腺がん 治療件数



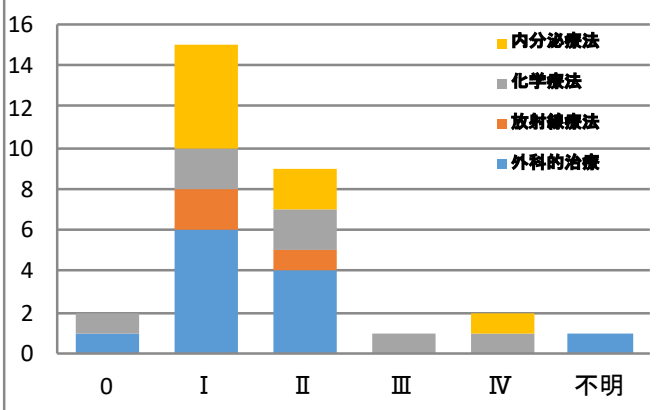
膵がん 病期別初回治療



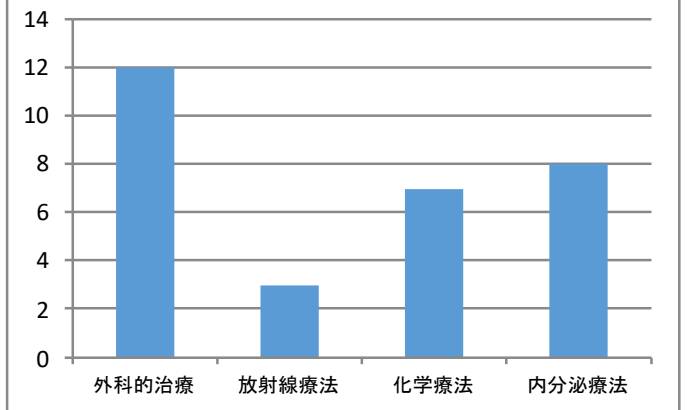
膵がん 治療件数



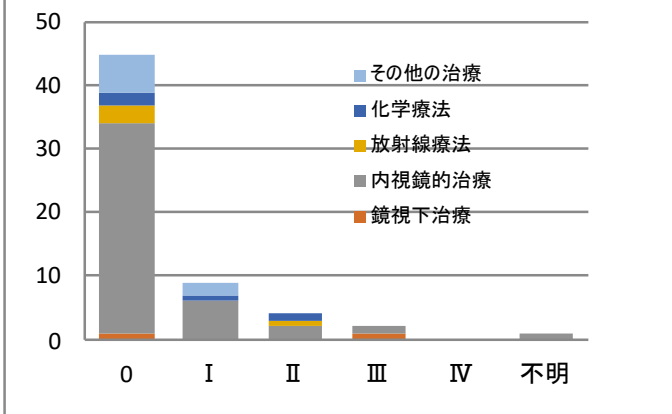
乳がん 病期別初回治療



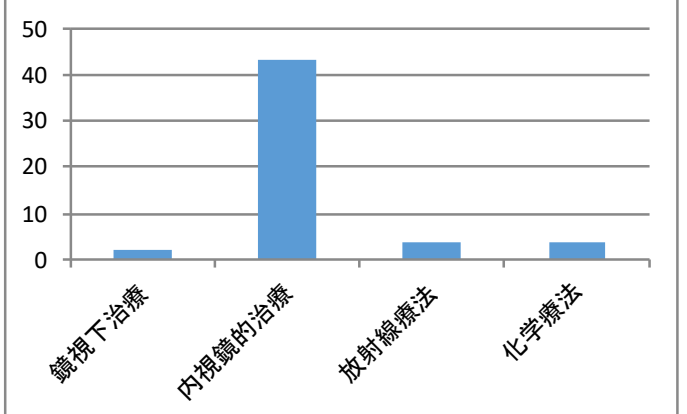
乳がん 治療件数



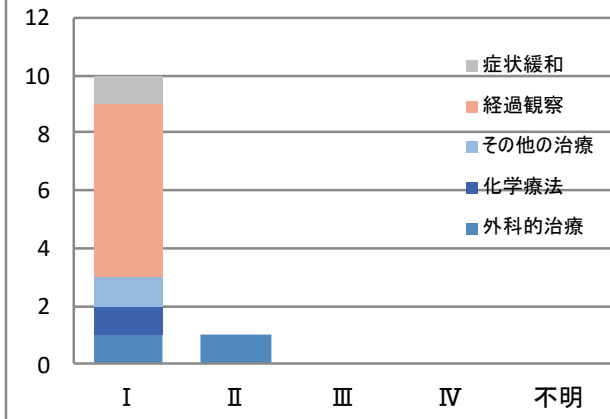
膀胱がん 病期別初回治療



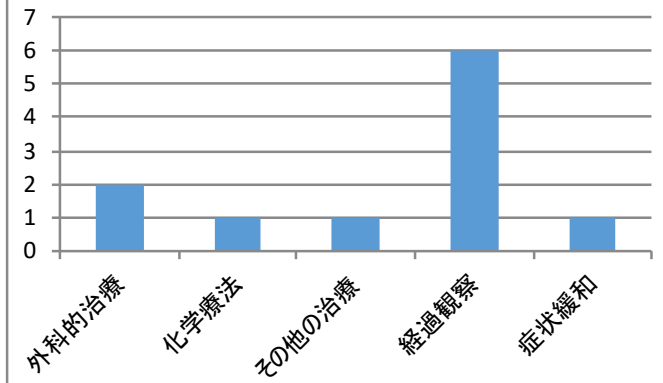
膀胱がん 治療件数



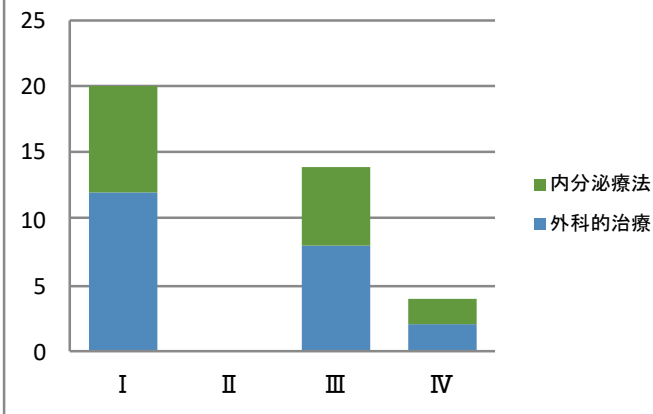
肝癌 病期別初回治療



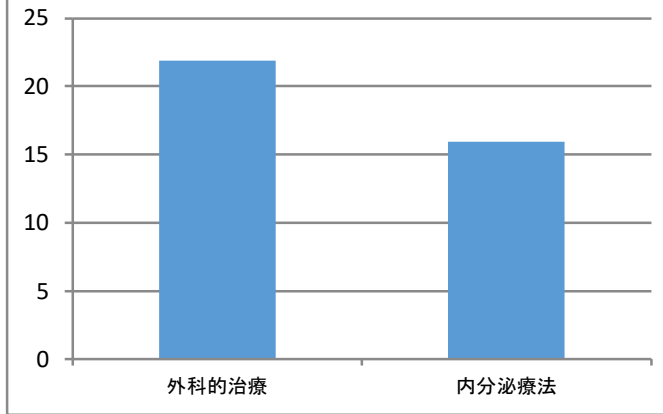
肝癌 治療件数



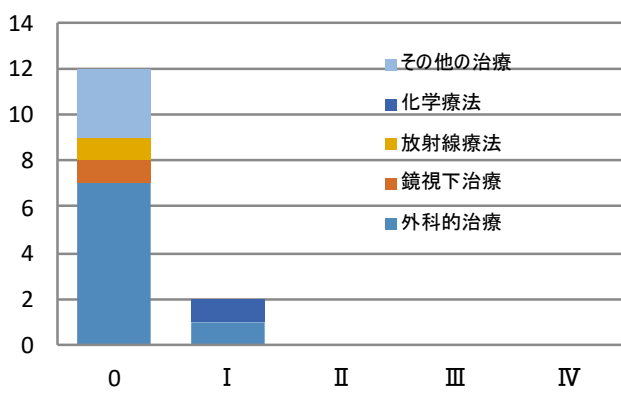
甲状腺がん 病期別初回治療



甲状腺がん 治療件数



子宮頸癌 病期別初回治療



子宮頸癌 治療件数

